

(様式3)

## 公共事業再評価調書

番 号	道路-3		事業担当局課	道路局 建設課		
事業名	都市計画道路 川崎町田線 (田奈地区)			採択年度	平成 19 年度	
施工場所	青葉区田奈町 5 番地先から 52 番地先			経過年数	12 年	
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>川崎町田線 (田奈地区) は本市の北部に位置し、本市の新横浜都心から町田市と川崎市に連絡する放射型幹線道路です。</p> <p>本地区は、東京急行田園都市線田奈駅前を含む現道拡幅する区間であり、国道 246 号へ接続する主要ルートです。本地区の整備により、周辺地域の渋滞を解消し、交通利便性が向上するとともに、安全な歩行空間を確保します。</p> <p>事業概要</p> <p>計画延長 650m、計画幅員 22m (往復 4 車線)、用地面積 7,644 m<sup>2</sup></p>					
			当初 (事業採択時)	変更 (平成 23 年度)	変更 (平成 29 年度)	
	事業期間		平成 19 年度～ 平成 23 年度	平成 19 年度～ 平成 30 年度	平成 19 年度～ 令和 5 年度	
	事業費	合 計		1,625 (百万円)	1,625 (百万円)	1,627 (百万円)
		国 費		812 (百万円)	812 (百万円)	813 (百万円)
		市 費		813 (百万円)	813 (百万円)	814 (百万円)
	変更内容		事業費の確保ができなかったため、事業に遅れが出ており、事業期間を延伸しています。			
	上位計画等		本市の「中期 4 か年計画 (2018～2021)」において、「政策 36 交通ネットワークの充実による都市インフラの強化」として、都市計画道路の整備が位置付けられています。			
関連事業		川崎町田線 (恩田地区)、田奈駅周辺地区まちづくりプラン				
事業の 必要性	事業を巡る 社会経済情 勢等の変化		<p>田奈駅周辺及び川崎町田線沿道には生活利便施設が集積していますが、駅前周辺では自動車が滞留し、バスの定時運行の妨げにもなっています。そのため、往復 4 車線に拡幅整備することにより、交通の円滑化を図り、バスの定時性向上にも寄与します。</p> <p>また、昨今、自動車の衝突による歩行者の痛ましい事故が社会問題となっており、安全な歩行空間の確保が急務となっています。田奈地区は歩道がなく危険な状況であり、平成 28 年度から 30 年度までの間に 24 件 (人身事故 5 件) の交通事故が発生しています。そのため、通学路や駅までの歩行者の安全確保が急務となっています。</p>			

	事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)	事業全体		残事業
		割引率	4%(2%)	—
		総便益(B)	108.0 億円(173.1 億円)	—
		総費用(C)	14.7 億円( 13.5 億円)	—
		費用便益比 (B/C)	7.4(12.8)	—
		感度分析 [交通量-10%]	5.4( 9.4)	—
		〔定性的効果〕  往復4車線に拡幅整備することで駅前の混雑を解消し、交通流の円滑化が図れます。 また、現道の狭あいな区間に歩道が整備されることで、歩行者の安全性と利便性が向上します。		

事業の 進ちよく 状 況	事業進ちよく率%	平成 30 年度までの用地取得率は約 6.7%、事業進捗率は約 20%です。 令和元年度は測量及び詳細設計を進めています。今後は関係機関協議を実施し、引き続き用地取得を進めます。
	20.4%	
	用地取得率%	
	6.7%	
	供用等の状況	
	無し	
事業の課題 及び進ちよく 見 込 み	<p>事業費確保が課題でしたが、平成 29 年度から国費の重点配分事業に位置付けられたことから、これまで以上の進捗を見込んでいます。</p> <p>事業開始からかなりの時間が経過しているため、再度、平成 30 年度から、沿道地権者に用地買収について説明を行っています。また、複数の地権者から前向きな意見をいただいております。今後は用地取得を進めていきます。</p>	
そ の 他 (コスト削減項目等)	<p>工事施工において、建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処理費のコスト削減を行うとともに、舗装の材料に再生材を使用するなど、可能な限りコスト削減に努めます。</p>	
その他	—	
添付資料	<input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	

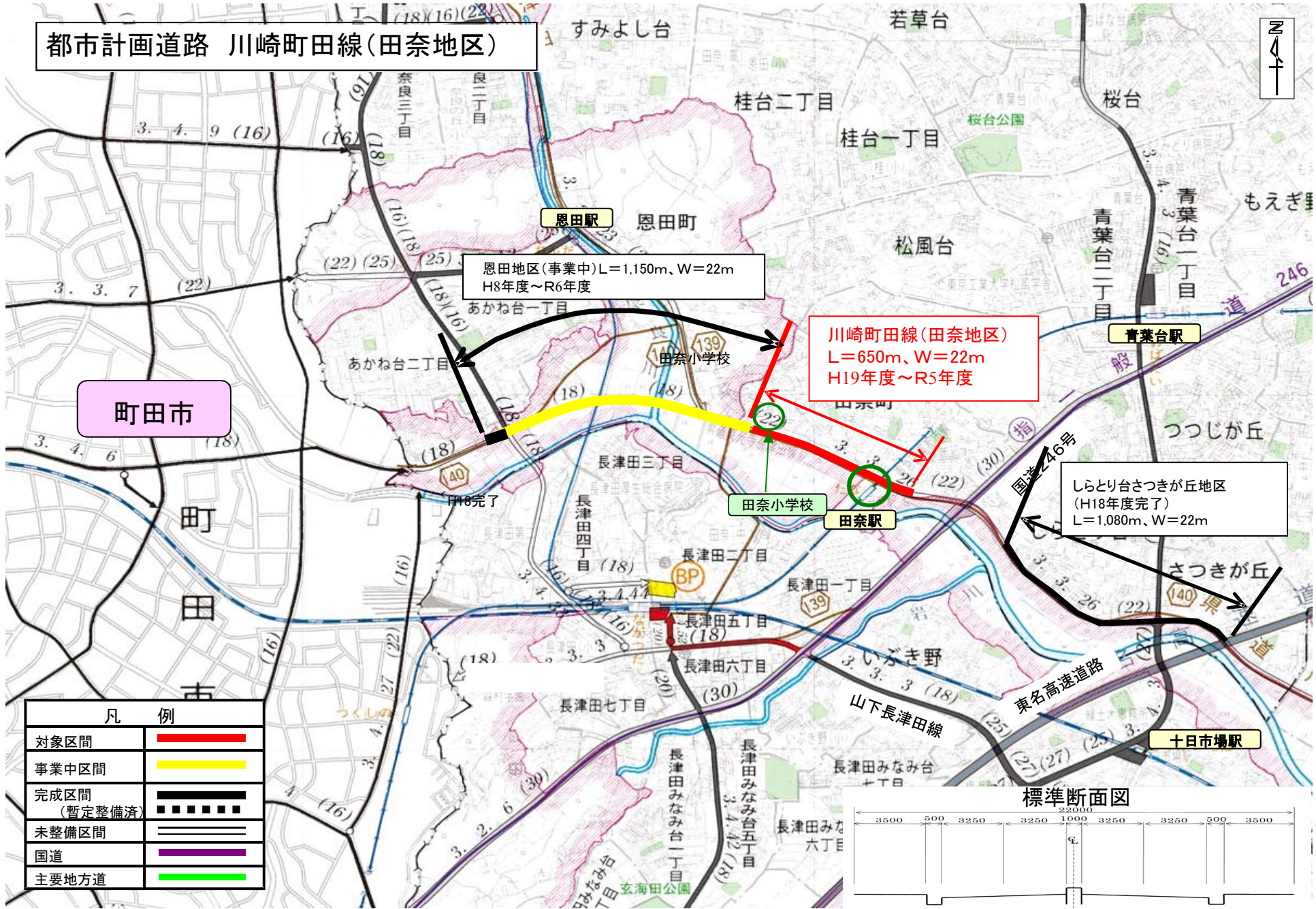
対応方針		計画通り(上記計画を実施)※1
	継 続	一部見直し(上記計画を変更)※2 ----- 【見直し内容】
	中 止	

対応方針 とした理由	本事業の実施により、車道が4車線に拡幅整備され、交通が円滑化するとともに、通勤・通学時のバス定時運行などに寄与します。また、歩道が設置されることから、田奈駅前地区の歩行者の安全が確保されます。
---------------	--

※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。

# 都市計画道路 川崎町田線(田奈地区)



恩田地区(事業中) L=1,150m, W=22m  
H8年度~R6年度

川崎町田線(田奈地区)  
L=650m, W=22m  
H19年度~R5年度

しらとり台さつきが丘地区  
(H18年度完了)  
L=1,080m, W=22m

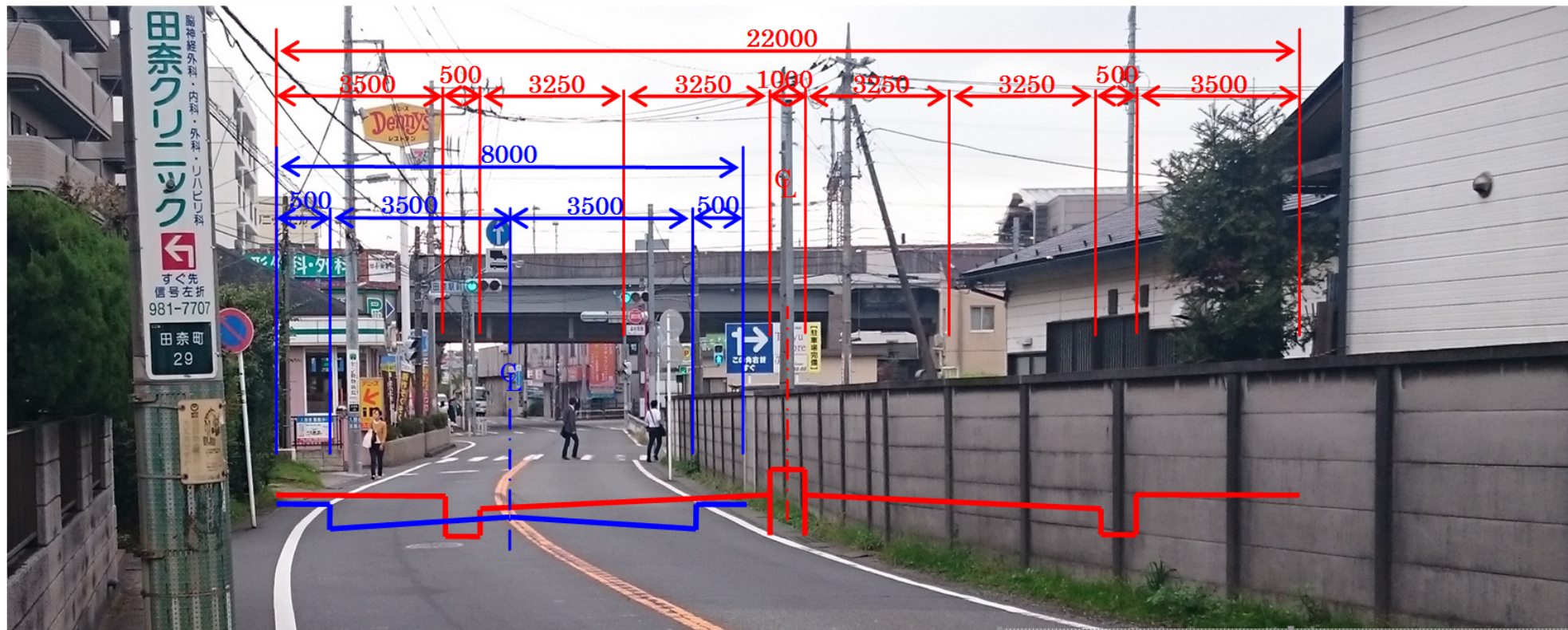
町田市

凡 例	
対象区間	
事業中区間	
完成区間 (暫定整備済)	
未整備区間	
国道	
主要地方道	





# 【現場写真・標準横断図】

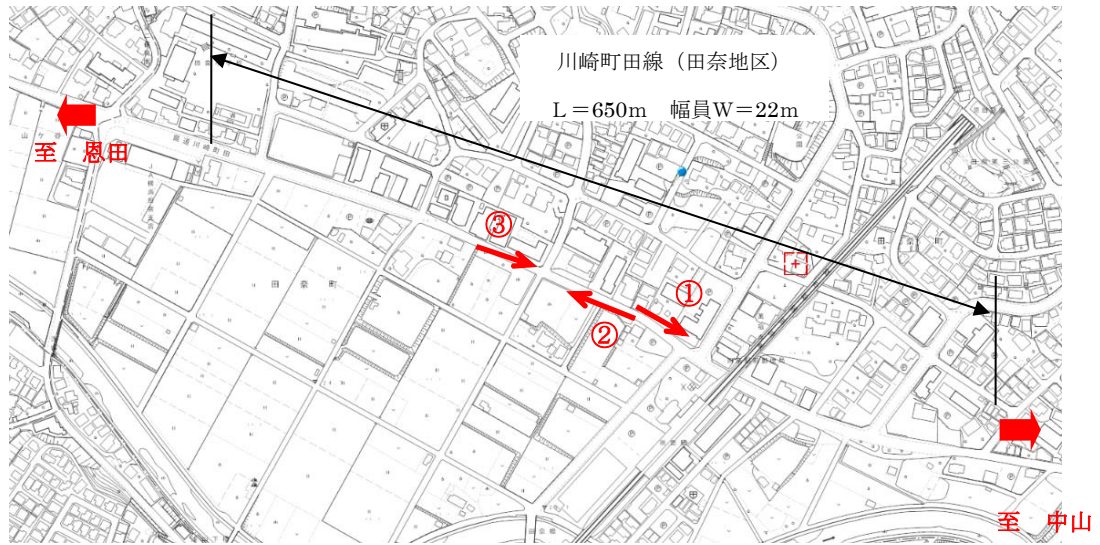




H28~H30  
事業区間内での交通事故発生  
件数 24件(内人身事故5件)

都市計画道路 川崎町田線(田奈地区)

現況写真



①



田奈駅付近路肩の状況



②



田奈駅付近路肩の状況及び滞留状況

③



田奈駅付近滞留状況

# 事業進捗状況

## 川崎町田線（田奈地区）

（単位：百万円）

年度	単年度事業費			事業進捗率			用地取得		
	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m <sup>2</sup> )	累計(m <sup>2</sup> )	用地取得率※3
H19	8	0	8	0.5%	0.0%	0.5%	0	0	0.0%
H20	16	0	16	1.5%	0.0%	1.5%	0	0	0.0%
H21	14	1	13	2.3%	0.1%	2.3%	0	0	0.0%
H22	80	77	3	7.3%	4.8%	2.5%	126	126	1.6%
H23	86	81	5	12.5%	9.8%	2.8%	153	279	3.6%
H24	4	2	2	12.8%	9.9%	2.9%	24	303	4.0%
H25	2	0	2	12.9%	9.9%	3.0%	0	303	4.0%
H26	4	0	4	13.2%	9.9%	3.3%	0	303	4.0%
H27	3	0	3	13.3%	9.9%	3.4%	0	303	4.0%
H28	90	83	7	18.9%	15.0%	3.9%	208	511	6.7%
H29	14	0	14	19.7%	15.0%	4.7%	0	511	6.7%
H30	11	0	11	20.4%	15.0%	5.4%	0	511	6.7%
合計	332	244	88				511		

※1 事業進捗率（合計）は全体事業費（様式3参照）に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和

※2 事業進捗率（用地補償、工事委託）は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合

※3 用地取得率は事業全体の取得面積（様式3参照）に占める各年度までの取得面積の割合

